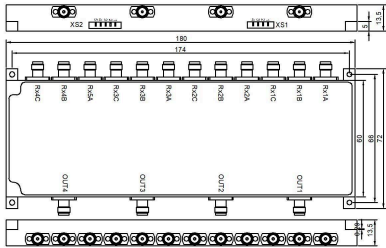


500–6000 MHz 4チャンネル反射型PIN SP3Tスイッチモジュール

500–6000 MHzの独立したPINダイオードSP3Tスイッチを4回路内蔵します。アイソレーションは標準80 dB、切替時間は標準100 nsです。



電気仕様

項目	値	単位	注記
周波数範囲	500–6000	MHz	最小: 500 MHz. 最大: 6000 MHz.
独立スイッチ数	4	-	-
スイッチ形式	SP3T	-	-
スイッチ構成	反射型	-	-
スイッチング技術	PIN	-	-
最大入力電力	30	dBm	最大: 30 dBm.
挿入損失	≤2	dB	最大: 2 dB.
アイソレーション	80	dB	代表: 80 dB.
切替時間	100	ns	代表: 100 ns.
入力/出力VSWR	1.5	-	代表: 1.5.
電源電圧	+12	VDC	代表: 12 VDC.
電源電流	150	mA	代表: 150 mA.
動作温度	−40–+80	°C	最小: −40 °C. 最大: 80 °C.
保存温度	−55–+125	°C	最小: −55 °C. 最大: 125 °C.

制御インターフェース

項目	値	単位	注記
SPIデータレート	2 / 10	Mbps	代表: 2 Mbps. 最大: 10 Mbps.
意味の定義がないSPIビット	8–15 — 原本ではこれらのビットに意味を定義していません。	-	-
SPIビット割当 — C41	7	-	-
SPIビット割当 — C40	6	-	-
SPIポート選択 — rx4-00	Rx4A	-	C41:C40=00
SPIポート選択 — rx4-01	Rx4B	-	C41:C40=01

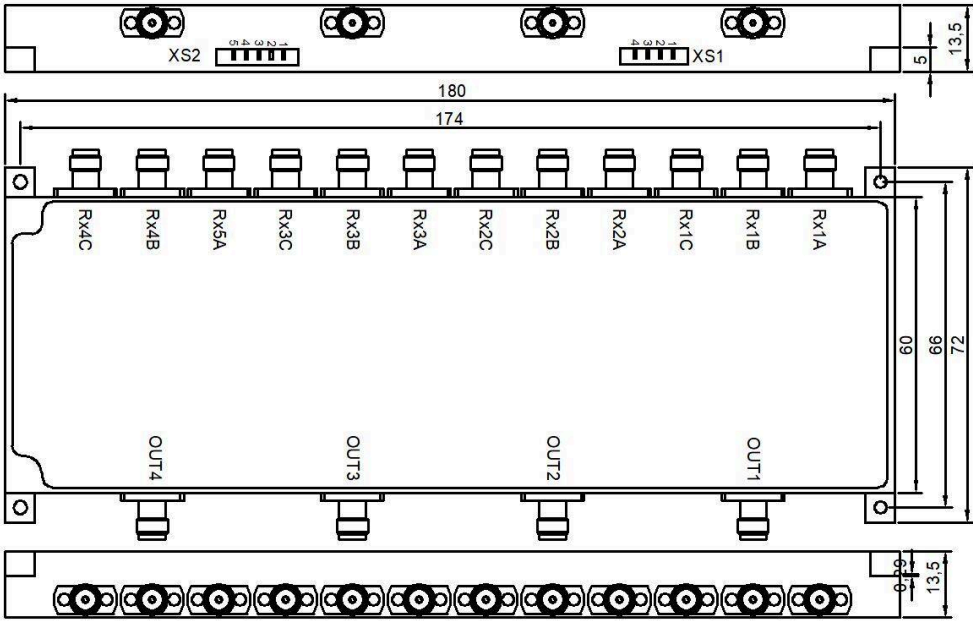
制御インターフェース

項目	値	単位	注記
SPIポート選択 — rx4-10	Rx4C	-	C41:C40=10
SPIポート選択 — rx4-11	原本に意味の定義なし	-	C41:C40=11
SPIビット割当 — C31	5	-	-
SPIビット割当 — C30	4	-	-
SPIポート選択 — rx3-00	Rx3A	-	C31:C30=00
SPIポート選択 — rx3-01	Rx3B	-	C31:C30=01
SPIポート選択 — rx3-10	Rx3C	-	C31:C30=10
SPIポート選択 — rx3-11	原本に意味の定義なし	-	C31:C30=11
SPIビット割当 — C21	3	-	-
SPIビット割当 — C20	2	-	-
SPIポート選択 — rx2-00	Rx2A	-	C21:C20=00
SPIポート選択 — rx2-01	Rx2B	-	C21:C20=01
SPIポート選択 — rx2-10	Rx2C	-	C21:C20=10
SPIポート選択 — rx2-11	原本に意味の定義なし	-	C21:C20=11
SPIビット割当 — C11	1	-	-
SPIポート選択 — rx1-00	Rx1A	-	C11:C10=00
SPIポート選択 — rx1-01	Rx1B	-	C11:C10=01
SPIポート選択 — rx1-10	Rx1C	-	C11:C10=10
SPIポート選択 — rx1-11	原本に意味の定義なし	-	C11:C10=11

機械仕様

項目	値	単位
寸法	180 × 72 × 13.5	mm
質量	≤500 (最大: 500 g.)	g

外形寸法図



寸法の単位はすべて mm [in] です。

インターフェースと端子

項目	値	単位	注記
RF入力 – rx1	SMA-K	-	Rx1A / Rx1B / Rx1C
RF出力 – RX1	SMA-K	-	OUT1
RF入力 – rx2	SMA-K	-	Rx2A / Rx2B / Rx2C
RF出力 – RX2	SMA-K	-	OUT2
RF入力 – rx3	SMA-K	-	Rx3A / Rx3B / Rx3C
RF出力 – RX3	SMA-K	-	OUT3
RF入力 – rx4	SMA-K	-	Rx4A / Rx4B / Rx4C
RF出力 – RX4	SMA-K	-	OUT4
電源端子 – 1-2	+12	VDC	XS1 / 1-2
電源端子 – 3-4	GND	-	XS1 / 3-4
SPI端子 – 1	SPI_MOSI	-	XS2 / 1
SPI端子 – 2	SPI_SCK	-	XS2 / 2

インターフェースと端子

項目	値	単位	注記
SPI端子－3	SPI_NSS / LE	-	XS2 / 3
SPI端子－4	GND	-	XS2 / 4
SPI端子－5	NC	-	XS2 / 5
外部接続ケーブル	外部接続ケーブルはモジュールに付属	-	-

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。